

教員についての基本情報

教員名	湯澤 秀文
担当教科と分野	算数・数学教育
研究分野	算数・数学教育全般
担当授業	数学概論, 初等算数科教育法, 数学科教育法 A, 数学科教育法 C, 数学科教育法 D
授業についての一言	講義では、学校数学においてともすれば忘れられがちな数学本来の姿について、具体的な題材に触れながら考察して行きます。そして、全体として算数・数学を指導する教員に必要な資質・能力や数学観・数学教育観について認識を深めて行きます。
研究室ホームページ	なし

研究の内容

算数・数学教育における教材開発や授業分析, 算数・数学科における教師教育について研究しています。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

- 「生徒の『問い』を軸とした数学授業の構想に関する研究」
- 「算数教育における帰納的推論と類比的推論についての研究」
- 「公理的方法に基づく算数学習の研究」
- 「変数に焦点をあてた文字式の指導に関する研究」
- 「高等学校数学科における数学史活用の実践～微分積分編～」
- 「意味と手続きのずれを活かした「一次関数」の授業の構想-全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて-」
- 「意味と手続きのずれを活かした図形領域における証明の授業研究」
- 「意味と手続きの視点による生徒のつまずきの分析- 一次方程式の利用における立式-」
- 「意味と手続きに基づく算数授業の構想-「単位の考え」に着目した異分母分数の統合的な指導-」
- 「有用性の感得を目指した高等学校数学の教材開発と実践」
- 「GeoGebra を活用した二次関数の授業構想— $y=ax^2+bx+c$ の各係数に着目して —」
- 「社会的オープンな問題」を用いた中学校「データの活用」の授業構想—統計グラフ作成ツールを活用して—」
- 「GeoGebra を活用した中学校数学における図形領域の教材開発」
- 「ICT を活用した「三平方の定理」の授業構想—定理の発見と証明との接続の場面に焦点を当てて—」など

研究のキーワード

算数・数学教育, 教材開発, 教師教育

研究室の様子

4年生のゼミでは、各自の興味・関心に基づき研究テーマを設定し、文献研究、授業構想、アンケート調査、実験授業などを通して卒業論文を作成します。研究の内容は小・中・高における算数・数学の指導法、教材研究・教材開発、数学史、数学教育史などで、ゼミ生と相談しながらテーマを絞って行きます。